

2026年度

学校名 横浜市立嶮山小学校

対象学年 第4学年

① 学習指導案

プログラム	No.5「地域かるたをつくろう」
単元名 (全35時間)	「わたしのまち、みんなのまち」
学習のねらい	自分の暮らすまちの良いところに気付き、その嶮山のまちを形作っている要素にはいろいろな方の協力があることに気付く。見つけた地域の自然や景観の良さ、地域のあたたかさを写真や絵、文章などで表現する力を高め、地域に発信する。
学習内容	1 嶮山のまちで好きな場所・よさはどこだろう 2 地域のよさを調べ、地域の方と交流しよう 3 関わってみて、分かったことや自分にできることを見付けよう 4 地域の良さを詰め込んだ地域かるたを作ろう
参考資料 準備品 実施場所等	嶮山校区 ・カルタの用紙 ・花の種 ・カルタを行う畳

学習の流れ

時間	学習活動	備考
1	○嶮山のまちの好きな場所や、よさを 出し合おう。	
2	○嶮山のまちの魅力を調べよう。 ・ケアプラザ ・防災 ・自然、花 ・地域の祭り の中で、自分が調べてみたい地域の 魅力を選択する。	
3	○それぞれの地域の方と交流をする。 ・ケアプラザ ・防災 ・自然、花 ・地域の祭り	・ケアプラザ 折り紙教室に参加し、交流をする ・防災 防災拠点について地域の方から学ぶ ・自然・花 花壇ボランティアの方や生花店の方と交 流し、植え方、育て方について学ぶ ・地域の祭り 連合自治会の方に、祭りの歴史について 4学んだり、盆踊りのおどり方について 学ぶ。
4	○体験を通して、わかったことや自分 にできることをまとめる。	・ケアプラザ 地域の方ともっと関わりたいという思い をもったり、ケアプラザについて広めた いと考えた。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災 避難場所のことや、防災備蓄庫、日頃の備えについてみんなに広めたいと思った</li> <li>・自然・花 学校もまちの景観の一つと捉え、学校の花壇に花を植えて育てることを通して、花の良さをみんなに広げたいと思った。</li> <li>・地域の祭り 祭りについて、より盛り上げていくために自分たちにできることを考えた。</li> </ul>
5	○発見した地域のよさでカルタをつくる。	今までの経験をもとに、分かったことや地域のよさをカルタにした。
6	○防災フェアで発表をした。 地域の方との交流を通して、多くの人にまちの魅力を伝える。 ○カルタを中心に、地域の方と交流した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったことや自分にできることを考え防災フェアで地域に発信をした。</li> <li>・地域かるたも展示をし、地域の方とカルタを楽しんだ。</li> </ul>
7	○地域かるたを学校の中でも広げる。	・どうすれば、学校の中でも地域のよさを知ってもらえるのか考え、地域カルタを各学年に遊んでもらう。
8	○自分たちの活動を振り返りを行った	

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立嶮山小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1 ～ 5	教室	○学校や地域の好きなところや良さを出し合う。  ○地域のよさをより深く知る方法を考える。	○地域には、場所(景観)だけではなく、地域の人や物などいいところがたくさんあることを知る。  ○ケアプラザ ・防災 ・自然、花 ・地域の祭りの中で自分がより深く知りたいことを決める。	○地域には、景観や人などいろいろなところに良さが隠れている事を知る。  ○これからどんな経験ができるのかわくわくしていた
6 ～ 16	教室 地域 【学区内】	○グループに分かれて調べ学習や地域の方と交流を行う。	【ケアプラザ】 ケアプラザの折り紙教室に参加をし、交流を行う	○それぞれの体験を楽しみ、熱心に取り組んでいた。

お礼になるこの演技をしたり、歌を歌ったりした。



【防災】

地域の方に、防災拠点や地域防災倉庫について教えてもらう。



【自然、花】

生花店に出向き、花のことについて知る。

地域の景観の中に学校も含まれている事に気づき、花壇ボランティアの方と学校に花を植える。




【地域の祭り】

地域の自治会長をお招きし、歴史や運営の仕方、思いについて知る。

盆踊りについて、講師をお招きし教えてもらう



				
17 ～ 25		<p>○調べ学習や交流から自分にできることを考える。</p> <p>○考えたことを基に地域かるたを作成する。</p>	 <p>↑作成したカルタ</p>	<p>○どんなことをカルタにかくと、調べたことが伝わるのかを考えながらカルタを作成していた。</p>
26 ～ 30		<p>○今まで調べたことや地域かるたを防災フェアで発表する。</p>	 <p>↑発表の様子</p>  <p>↑カルタを一緒に行う様子</p>	<p>○自分たちが考えたことやカルタのことを発表し、地域の方に伝えられたことに喜びを感じていた。</p>
31 ～ 35		<p>○作ったカルタで遊ぶ</p> <p>○学校みんなに地域カルタを紹介し、遊んでもらう。</p>		<p>○ほかの学年の友達が完成したカルタを楽しんでくれていた。</p>

				
			↑ 遊んでもらっている様子	

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日常の行動範囲である校区のよさや好きなどところを出し合う活動を経たから、地域の景観やより深く良さを広げる活動に広げていった。</li> <li>• 地域の方と積極的に関わり、カルタ作成への思いを高めた。</li> <li>• ゴールを地域の方に広げることと、地域カルタを全校に広げる事と決めて児童が主体的に取り組めるようにした。</li> </ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「景観」という言葉の意味の捉えさせ方が難しかった。</li> <li>• 4グループあったので、交流の時間の確保を決めることに苦労した。</li> <li>• カルタ作成の中で、まちのよさを短い言葉で表現させるのが難しかった。</li> </ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• まちのよさを体験などで知れば知るほど、「ここが好き」「〇〇がすてき」など気付いたことをメモしたり、伝えたりしていた。</li> <li>• まちのよさをどのように伝えればよいか考え、意欲的にカルタを作っていた。</li> <li>• カルタを作成する経験を通して、今まで知らなかったまちのよさに気付くことができた。</li> </ul>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 実際にまちの方と打ち合わせを行ったり、景観を下調べすることで指導に生かすことができた。</li> </ul>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝え方の方法として、新聞やポスターなど広げたり、交流を続けたりできるとよいと思う</li> </ul>